

東京とは

1 政治・経済の中心地としての東京

- ・国会、官公庁が霞ヶ関を中心とする半径約 1 km 以内に立地
- ・経済活動の担い手である民間企業、特に大企業の多くが東京に集中し、我が国の経済を牽引
- ・官公庁、民間企業の集積による広範な就業選択肢

2 人口が集中する大都市としての東京

- ・日本の人口のおよそ 1 割に相当する約 1,200 万人が常住
- ・近隣自治体からの流入人口が多く、昼間人口は夜間人口の約 1.2 倍
- ・人口密度は約 13,000 人 / km^2 (区部) で、他都市と比較しても突出

3 国際都市としての東京

- ・政治、文化の活動・交流拠点
- ・産業・観光両面における国際的に重要な都市
- ・ニューヨーク、ロンドンと並ぶ国際的な金融・証券市場の存在

4 社会資本の高密度な集積地としての東京

- ・都市内外の移動手段としての公共交通網の充実 (鉄道、高速道路、空港、船舶)
- ・情報関連インフラの充実 (インターネット、ブロードバンド、情報通信業)
- ・生活関連施設の充実 (大規模小売店舗、コンビニエンスストア、外食産業、量販店)

5 学術・教育機関の集積地としての東京

- ・多くの大学、研究機関が立地
- ・学術・教育環境の充実

6 文化の継承・流行の発信地としての東京

- ・芸術や文化施設を多く有し、歴史的に重要な文化財も多数保有
- ・江戸開府以来の文化継承があり、隅田川の花火や花見に代表される伝統的な催しのほか、スポーツ、芸術の鑑賞などの催しも多数開催
- ・首都であることの知名度を踏まえ、新しいビジネスの展開やトレンドの創出により多くの情報を発信

東京をとりまく社会状況の変化

1 成熟社会の到来

- ・多様なライフスタイル（余暇利用、地域活動、文化・アミューズメントの堪能）
- ・健康志向の高まり
- ・ゆとりと逼迫 - 世代間ギャップの顕在化
- ・安全・安心への強いニーズ

2 少子高齢社会の加速

- ・東京の人口吸引 - しばらくは続くと見込まれる人口増
- ・超高齢化社会の進展
- ・少子化の動向
- ・社会保障制度等の継続に向けた調整

3 国際化の進展と国際社会における責任

- ・人、物、資本、情報などの交流がより一層グローバル化
- ・世界的企業のさらなる台頭
- ・インターネット社会の更なる進展
- ・世界都市としての繁栄と問われる国際社会における責任

4 求められる危機管理

- ・首都直下地震、渇水など、自然災害への対応
- ・発電所機能の低下等による広域停電
- ・テロ対策、新感染症等
- ・社会的犯罪の増加と求められるセーフティネット
- ・政府、企業、個人の責任の再認識、求められるコンプライアンス

5 環境問題の深刻化

- ・地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊
- ・世界的に見られる異常気象
- ・求められるエネルギー効率のよいシステム
- ・問われる個人・企業・行政それぞれの取り組み

東京とは

